

埼玉県立大学研究開発センターシンポジウム 2021

公開期間: 1月中旬～6月30日(木)

開催形式: Web 配信 (オンデマンド配信)

テーマ: 家族介護の実態から介護者支援のあり方を考えよう!

参加費: 無料

プログラム: 基調講演「家族介護の現状・課題と今後の展望」川越雅弘(埼玉県立大学大学院教授)／特別講演「国におけるヤングケアラー支援について」笹子宗一郎(厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課長)／シンポジウム「家族介護者を如何に支えるか」／講演1「ヤングケアラーについて」井手大喜(草加市議会議員)／講演2「認知症介護の実態とその家族を支えるために必要な支援」花保ふみ代(認知症のひとと家族の会副代表理事)／講演3「NPOによる介護者(ケアラー)支援の取組」／村田恵子(さいたまNPOセンター専務理事)／講演4「埼玉県におけるケアラー支援への取組」藤岡麻里(埼玉県福祉部地域包括ケア課課長)／講演5「家族介護者をいかに支えるか」大学の立場から」朝日雅也(埼玉県立大学学長補佐)／パネルディスカッション

申し込み方法: 以下 URL から

www.spu.ac.jp/research/centers

問い合わせ先: 埼玉県立大学研究開発センター

✉ Research_c@spu.ac.jp

☎ 048-973-4362

日本看護サミット 2021

日時: 2月4日(金)

開催形式: 実地開催, Web 開催

会場: パシフィコ横浜国立大ホール(神奈川県横浜市)

※開催後, アーカイブ配信(2月10～28日)

プログラム: 解説「看護職の働き方改革—2015～2020年の取り組みの成果と今後の課題」秋山智弥(日本看護協会副会長)／特別講演「看護の未来を拓く働き方—学ぶ・つながる・楽しむ」村木厚子(元厚生労働事務次官)／鼎談「2040年に向けて, いま看護職に求められる働き方」石田昌宏(参議院議員), 友納理緒(日本看護協会参与)シンポジウム「多様な人材を活かす, 多様な働き方」奥裕美(聖路加国際大学大学院看護学研究科教授), 折笠清美(新小山市民病院看護部長), 森山由香(株式会社麻生飯塚病院副院長), 小西美智子(医療法人社団明和会大野浦病院看護部長)

当日受付参加費: 7700円(税込)

問い合わせ先: 日本看護サミット 2021 運営事務局

✉ info@kangosummit2021.com

日本健康相談活動学会 第18回学術集会

日時: 3月5日(土)～6日(日)

開催形式: Web 開催

テーマ: 子供・若者の social well-being を高める健康相談・健康相談活動—教育と福祉をつなぎ「苦難とともに生きる力」をどうエンパワメントするか

プログラム: 学会長講演「現代社会の苦難を生きる子供・若者のウェルビーイングとエンパワメント」朝倉隆司(東京学芸大学名誉教授)／特別講演「他人事≠自分事でつむぐ希望の物語」菊地栄治(早稲田大学教授)／参加型シンポジウム「子供・若者の困難を希望に転換する学校のケア機能」山城綾子(東京都公立中

学校養護教諭), 横溝亮(神奈川県公立小学校教諭), 早野裕之(埼玉県教育委員会指導主事), 木村悠(大阪府公立高等学校教諭)／教育講演1「女の子・女性の発達障害の理解と支援」木谷秀勝(山口大学教授)／教育講演2「多様性から考える新しい学びのかたち」森村美和子(東京都公立小学校教諭)

通常申込参加費: 会員 5000円, 非会員 5500円, 学生(大学院生除く) 2000円

通常申込参加費納入期限: 3月6日(日)

大会事務局: 東京学芸大学芸術・スポーツ科学系養護教育講座

✉ jahca1@u-gakugei.ac.jp

DV 被害者対応 スキルアップ研修会

日時: 3月6日(日)

会場: 東京ボランティア・市民活動センター(東京都新宿区)

テーマ: 被害者ファーストの支援を探究する

内容: 「DVの本質」「被害者の心理機制」「被害者が安心感をもてる援助技法」「セルフケアの工夫」「被害者の隠れたニーズをつかむ」「被害者ファーストを妨げる無意識バイアス」「リフレインの応用」の講義, デモンストレーション, ロールプレイ実習

講師: 草柳和之(大東文化大学非常勤講師)

受講費: 予約 7700円, 当日 8800円(共に税込)

問い合わせ先: メンタルサービスセンター

www5e.biglobe.ne.jp/~m-s-c

公益信託山路ふみ子 専門看護教育研究助成基金 第32回(2022年度) 研究助成候補者募集

申請締切日: 3月18日(金)

主旨: 看護実践の科学的根拠の確立、看護方法論の開発と評価および看護学の基礎となる研究を助成。今年度も引き続き、COVID-19に関連する看護研究を期待。なお、軍事に資する研究には助成しない。

助成金交付予定額および助成金使用期限:

(1) 1件150万円以内で、約20人に交付予定

※助成金使用期限は、大学院博士後期課程または5年一貫博士課程の場合は修了予定日まで、博士課程修了後の研究生の場合は研究終了時まで。ただし、最長3年。

(2) 助成金の使用内訳には、以下の制限がある

パソコン等のハード購入費は20万円以内/下記の費用は助成対象としない: 授業料・学会参加費・論文作成費(英訳を含む)・データ入力およびテープ起こしなどに対する謝金/研究推進に直接必要な経費に充当するものとし、間接経費への使用および使用者の変更は認めない

応募資格: 次の全ての条件を満たす者

日本国籍を有し、厚生労働大臣の免許を受けている看護師/国内または国外の大学院博士後期課程または5年一貫博士課程の正規生、もしくは博士課程修了後の研究生(いわゆるポスドク)として在学中で、看護学の諸分野を研究中的者/看護学の探求に熱意を持ち、将来看護学の教育、実践または研究に携わる意志を持つ者/これまで当研究助成基金から助成を受けたことのない者(ただし、博士課程修了後の研究生はこの

限りではない)

※給与収入(フルタイム)がある者、2022年4月時点で大学院博士後期課程1年生、5年一貫博士課程1、2年生は原則として応募資格はない

助成金受給者の義務: 研究成果の報告書(会計報告書を含む)を助成金使用期限までに当公益信託の受託者に提出/学位論文完成時、研究生は研究終了時には、論文要旨の写しを当公益信託の受託者に提出/学位論文およびその他研究論文を公表する場合には、「この研究は、公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金より助成を受けた」旨を記載/当公益信託の事業において研究成果の報告を課することがある/受給後に給与収入が発生した場合は、未使用の助成金を返金

審査通知: 5月上旬頃までに通知

申請書掲載 Web サイト:

 www.smtb.jp/personal/entrustment/public/example/list.html

公益信託中西睦子 看護学先端的研究基金 2022年度 研究助成候補者募集

募集締切日: 3月18日(金)

主旨: 保健医療福祉施設および地域等において、看護実践の成果の可視化および理論化を図ろうとする看護職の研究を助成。ただし、博士論文のための研究は対象としない。また、軍事に資する研究は助成しない

助成金交付予定額および助成金使用期限:

(1) 1件200万円以内で、約5人に交付予定

※助成金使用期限は、研究終了時まで。ただし、最長3年

(2) 助成金の使用内訳には、以下の制限がある

パソコン等のハード購入費は20万円以内/下記の費用は助成対象としない: 授業料・学会参加費・論文作成費(英訳を含む)・データ入力およびテープ起こし等に対する謝金/研究推進に直接必要な経費に充当するものとし、間接経費への使用および使用者の変更は認めない

応募資格: 次の全ての条件を満たす者

日本国籍を有し、厚生労働大臣の免許を受けている看護師/修士・博士の学位を有する現場の看護職(個人またはグループ)で、実践の成果の可視化、もしくは理論化を図ろうとする研究を行おうとする者/主たる申請者が科研費の申請資格がない者/これまで当研究助成基金から助成を受けたことのない者

助成金受給者の義務: 研究成果の報告書(会計報告書を含む)を受給後3年以内に当公益信託の受託者に提出/研究終了時には、論文要旨の写しを当公益信託の受託者に提出/研究論文を公表する場合には、「この研究は、公益信託中西睦子看護学先端的研究基金より助成を受けた」旨を記載/当公益信託の事業において研究成果の報告をすることがある

審査方法並びに通知: 当公益信託の運営委員会で、書類による審査のうえ採否を決定し、結果は5月上旬頃に志望者に通知

審査通知: 5月上旬頃までに通知

申請書掲載 Web サイト:

 www.smtb.jp/personal/entrustment/public/example/list.html

日本地域看護学会 第25回学術集会

日時: 8月27日(土)~28日(日)

開催形式: 実地開催、Web開催

会場: 富山国際会議場(富山県富山市)

テーマ：地域生活者の健康と存在を
護る地域看護のプロフェッショナル—
当事者・家族が普通に生活できる暮
らしの場づくり

プログラム：学術集会長講演「当事
者・家族の暮らしの場で生活を護る
地域看護」田村須賀子／特別講演
「地域看護への期待—看護職の自立
のために」上野千鶴子／教育講演 1
「『家族の総意』をどう作り上げるか
—解決志向型の家族システムアプ
ローチ」柳原清子／教育講演 2「住
民主体の共生型地域づくりと AAR
循環」堀田聡子／教育講演 3「今、
あらためて働き盛り世代への健康ア
プローチ」大神あゆみ／教育講演 4
「ポストコロナ禍の保健師の現任教
育」佐伯和子／シンポジウム A
「個々のニーズに向き合い対応して
いくことにより着実に積み上げる保
健師活動」松下光子，他／シンポジ
ウム B「地域でともに生きる」佐藤
伸彦，他／シンポジウム C「地域
包括ケアに必要な多職種間の情報共
有を支える ICT の利活用」金井秀
明，他／指定集会 1「生活と医療を
統合する継続看護マネジメント—実
践への活用」長江弘子，他／指定集
会 2「地域で守る子どもの健康—
ネット依存」山田正明，他／指定集
会 3「ポストコロナ禍の訪問看護」
加藤真理子，他／指定集会 4「生活
保護利用者の健康自己管理支援」谷
山牧，他／市民公開シンポジウム
「アフターコロナ禍の自殺対策—地
域で起きた分断の回復に向けて」立
瀬剛志，他

事前参加申込期限：6月30日（木）

参加費：

〔事前申込〕会員 1 万円，非会員 1
万 2000 円

〔当日申込〕会員 1 万 2000 円，非
会員 1 万 2000 円，学生（院生を
除く）3000 円

事前参加申込方法：以下 URL から

URL jachn25.yupia.net

一般演題（示説）・ワークショップ

募集期限：3月14日（月）12:00

学術集会運営事務局：

✉ jachn25@yupia.net

☎ 052-872-8101

日本地域看護学会事務センター：

✉ ckango@zfhv.ftbb.net

☎ 03-5206-7431

※入会申し込みおよび住所・所属変
更など

掲載情報は 2021 年 12 月 1 日現
在のものです。最新の情報は主催
者にお問い合わせください。

● ● ●

本欄へ掲載を希望する学会・研究
会・講演会などのお知らせがあり
ましたら，本誌編集室までお送り
ください。

✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp